

練習カード(入門) I

名前[

]

- ① 絵のなかに <sup>え</sup>かんじが たくさん かくれています。(ぜんぶで 21こ あります。)   
 みつけて れいのように かんじとよみがなを かきましょう。



れい	山	やま			

①意味

漢字と一緒に成り立ちも覚えると、漢字に対しての興味がわくかもしれません。

②意味

いろいろな動作のある絵を見て、何をしているところか漢字で書く練習をしましょう。

## 練習カード(入門)Ⅱ

## 名前[ ]

② 正しいほうに ○を つけましょう。

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. ちから ( 刀 ・ 力 )    | 2. ひやく ( 白 ・ 百 )       |
| 3. つち ( 土 ・ 工 )     | 4. ほん ( 木 ・ 本 )        |
| 5. ひだり ( 左 ・ 右 )    | 6. じ ( 学 ・ 字 )         |
| 7. ふん ( 方 ・ 分 )     | 8. め ( 目 ・ 自 )         |
| 9. たま ( 玉 ・ 王 )     | 10. かず ( 教 ・ 数 )       |
| 11. いぬ ( 犬 ・ 太 )    | 12. ごぜん ( 午前 ・ 牛前 )    |
| 13. じめん ( 池面 ・ 地面 ) | 14. にほんご ( 日本語 ・ 日本語 ) |

### ③字形

よく似た漢字を見分ける練習です。正解ではないほうの漢字も、読んだり書いたりする練習をしましょう。線の長さや本数、つき出ているかどうかなど、しっかり点検しましょう。

④ <sup>かくめ</sup>3画目に かくのは どこでしょう。3画目だけをえんぴつで かきましょう。

火 ・ 口 ・ 白 ・ 出

円 ・ 半 ・ 図 ・ 用

### ④筆順

漢字の筆順を確認する練習問題です。漢字をバランスよく書くためには、筆順はとても大切です。一度間違っ覚えてしまうと、なかなか直りにくいので、初めて書くときによく確認して練習するようにしましょう。

練習カード(入門)Ⅲ

名前[ ]

⑤ せんをひいた ことばを かんじで かきましょう。 ひつような ものには  
おくりがなも つけましょう。

- |   |  |
|---|--|
| 1. <u>あたらしい</u> かばん。                    | 2. 部屋 <small>へや</small> の 箆 <small>へら</small> に <u>はいる</u> 。 |
| 3. <u>げんきな</u> 子 <small>こ</small> ども。   | 4. <u>たのしかった</u> <small>なつやす</small> 夏休み。                    |
| 5. <u>わかる</u> ことを <u>書</u> こう。          | 6. <u>ただしい</u> 替 <small>か</small> え。                         |
| 7. <u>あさ</u> 草 <small>くさ</small> く おきる。 | 8. <u>がっこう</u> に 行く。   |
| 9. <u>どうぶつえん</u> は おもしろい。               | 10. 2階 <small>かい</small> に <u>あがる</u> 。                      |

1		2	
3		4	
5		6	
7		8	
9		10	

⑤書き

言葉の意味を理解し、それに合った漢字を正しく書く練習です。漢字を練習するときは、送り仮名も一緒に、よく練習しましょう。いろいろな文章を読むことで、言葉は増えていきます。読書をする習慣をつけるとよいでしょう。

## 練習カード(入門)Ⅳ

名前[ ]

⑥ せんをひいた かんじのよみがなを かきましょう。

1. 今は 午後 2時です。
2. ケーキを 半分に分ける。
3. おこずかいは 千円です。
4. 今日は 何日ですか。
5. 毎日 読書をする。
6. これは 三角形です。
7. 四時間目は 社会です。
8. 音楽が 大好きです。
9. 学習予定表をもらう。
10. お父さんが 新聞を読む。

### ⑥読み

文章の意味を理解し、漢字に正しい読み仮名をつける練習です。  
もし、読めない漢字があっても、前後の言葉から意味を推測して読む力が必要です。  
この力は、多くの文章を読むことで身に付くでしょう。

⑦【 】のなかで なかまが ちがうのはどれでしょう。○をつけましょう。

1. 【赤い・作る・帰る・上る】
2. 【古い・早い・来る・白い】
3. 【使う・同じ・聞く・切る】
4. 【高い・出る・買う・行く】
5. 【長さ・考え・言う・動き】
6. 【春・冬・秋・北】
7. 【手・力・足・耳】
8. 【今・南・西・東】
9. 【木・日・夏・金】
10. 【海・風・空・紙】

### ⑦ 用法(品詞)

品詞の違いや、言葉の性質の違いを見分ける練習です。動詞と形容詞の違い・物の名前のグループ違い・動詞や形容詞の名詞的用法など、違いにもいろいろな種類があります。言葉集めなどの遊びを通して、言葉の感覚を身に付けられるとよいでしょう。